

5

次の の中の ―― 部には、二つの内容がふくまれています。「ごん」を主語にして、二つの文に分けて書きましよう。

ごんは、ひとりぼっちの小ぎつねで、しだのいっばいしげった森の中に、あなをほって住んでいました。そして、夜でも昼でも、辺りの村へ出てきて、いたずらばかりしました。

(新美南吉「ごんぎつね」による)